



編集後記

■……この秋は、日本の技術があらゆる面で世界水準を凌駕していると感じ込んでいた「普通の日本人」を裏切って、実は「目茶苦茶」と分かったんですね。自動車産業のことです。日産自動車に続き、SUBARU（スバル）で新車の無資格検査が発覚したので、ビツクリもビツクリもビツクリもビツクリも。日本車の品質に疑念が拡大し、メーカー任せ、検査に穴の実態。さあ、今後どうしたらよいのでしょうか。スバル、日産に限らずメーカーの不祥事が相次ぎ、日本の製造業への信頼が大きく揺らいでいます。

■……世界経済が安定した成長を続けています。米国では連邦準備制度委員会（FRB）が金融危機対応の政策を正常化させる作業の総仕上げ。ユーロ加盟国の金融政策を担う欧州金融銀行（ECB）も近く量的緩和からの脱却に向けて動き出します。

イングランド銀行も近く利上げに踏み切ると見られています。ところが日銀は正常化の展望が全く開けていません。黒田日銀総裁は物価上昇率が目標の2%を大幅に下回っているためだとの説明。2%超えの状態が安定的に続くようになるまで、量的緩和を続ける、と言いますが、それでは今の異常な金融政策がさらに何年も続くことになりませんか、総裁様。

■……気の重くなる数字。帝国データバンクの発表ですが、問題のスバルで完成車の無資格検査が発覚、同社グループの下請けは8776社に上るそうです。何と年商は10億円未満の中小企業が66・2%を占めている、ということ。さらにこんな数字が……。スバルと直接取引がある「1次下請け」が993社、1次と取引する「2次下請け」が7783社、両者を合わせた総従業員数は47万5074人とか。この多数の人達が集まって働く地域では今どんな動揺が及んでいるのか想像してもゾッとしますね。

■……スバル、日産に限らずメーカーの不祥事が相次ぎ、日本の製造業への信頼が大きく揺らいでいます。

ある企業のトップは「日本のものづくりは現場の強さが特長」と日頃から主張していましたが……。自主性が尊重されるあまり、現場で不正が常態化し、企業統治が機能しなくなっていますか。ある経営学専門の学者の弁を借りると「品質を担当する部門は専門性が高く、経営陣がルール違反を把握するのは容易ではない」と指摘、信頼回復には「産業界全体で問題を一掃する覚悟が必要」と強調しています。

■……ある中学で、女子中学生の着替えを盗撮した男性教諭（45）がいました。その中学の校長（59）と教頭（54）が何をしたと思いますか。2人は事件が発覚しないようにと証拠の動画を削除させたと言います。つまり犯人隠避と証拠隠滅の容疑を犯したわけです。この「悪」の教諭は、昨年と今年、教室にビデオカメラを設置して着替えの動画を撮りまくっていたようで。犯罪的には、児童買春・ポルノ禁止法違反容疑ですね。校長さん達「教諭に辞められると学校の負担が大きくなる」と考えた。2人がかりで「悪ダマ教諭」をかばい立てたという学校現場のお話。

月刊公論 MONTHLY
KORON

12月号 第50巻12号

平成29年12月1日発行 毎月20日発売
本体価格848円（税別） 送料86円

発行人 大 中 吉 一 編集人 田崎義信 和泉貴志
発行所 株式会社社界通信社
〒160-0008東京都新宿区三栄町25ボナフラワービル
TEL.03-5379-5611代、FAX.03-5379-5616
印刷所 株式会社廣済堂
取次店 日本出版販売/大阪屋栗田

●直接ご購入をご希望の方は、本社までお問い合わせ下さい。
●万一、乱丁、落丁などの不良品がございましたら、お取り替えいたします。